

県内有数の産地！

大豆収穫スタート！

【11月下旬に安城市内で収穫風景をご紹介します】

JAあいち中央営農部会（部会長：大嶋和則）は、11月中旬から安城市を中心とする当JA管内5市（碧南市・刈谷市・安城市・知立市・高浜市）で、コンバインによる大豆の収穫作業を行います。

当JAでは、2020年産から「フクユタカA1（エーイチ）号」に切り替わり、単収増が見込める品種として、農業者所得の向上が期待されています。

「フクユタカA1（エーイチ）号」は、タンパク質含量が多く、豆腐へ加工するのに適した品種で、甘みのある美味しい豆腐が作れます。品種特性として、難裂莢性（莢がはじけにくくなる性質）を備えています。



コンバインによる収穫の様子

JAあいち中央営農部会

部会員：140人（うち、大豆を栽培している部会員は63人）

栽培面積：1,203ヘクタール（5市合計）※2021年産

碧南：85.3ヘクタール 刈谷：122.0ヘクタール

安城：1001.9ヘクタール 知立：26.8ヘクタール

高浜：9.5ヘクタール

■収穫時期：11月下旬から12月下旬まで

■収穫量：約1,500トンを見込んでいます

■流通先：JAあいち経済連

<今年産の生育状況>

6、7月の早い時期に種を播けたほ場では、生育は良好に進んでいるが、7、8月にかけて降雨が多く、湿害による影響が心配される。

全体的に旺盛な生育で、収量にも期待がかかる。



<メディア対応日>

■日時：2021年11月下旬

■場所：未定

※取材当日は、安城市内の大豆圃場で収穫の様子を撮影いただけます。

※天候や作業状況等により、日時・集合場所が変更になる場合があります。

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

JAあいち中央総合企画部企画課（広報担当：高瀬、杉浦、山村）

TEL:0566-73-5504／携帯:080-3667-3853／E-mail:kouhou@jaac.or.jp